

令和6年度 授業改善推進プラン

担当教科 (英語) 学年 (1 学年)

学力調査・アンケート等の課題分析

「授業に積極的に取り組んでいる」と90%の生徒が回答している。授業中に、わかった、できたと感じる機会もあり、学ぶ楽しさを実感しているように見受けられる。

授業等の課題分析

- ・ペアワークやグループワークなどの学びあう活動を通して、自分の意見を述べたり、他人の意見を共有したりすることができているようである。
- ・「教材や資料がわかりやすい」と90%の生徒が答えているので、今後も適切にICTやワークシートの活用をしていく。



目指す授業

- ・わかりやすい授業、生徒が学ぶ喜びを持てる授業
- ・生徒がコミュニケーションする意欲を持てるようにする授業



授業改善のための具体的な方策

- ・わかりやすい導入を心がけるために、ICT機器やデジタル教科書を適切に活用する。
- ・帯活動で英単語ビンゴを活用し、スパイラルな指導をする。それにより、音と綴りの規則性を学び、正しく発音し、文字を読めるようになるようにさせる。
- ・基本的な英語のやりとりをできるように、ペアワークやグループワークを継続的に行い、生徒一人ひとりの発話量を増やせるようにする。

令和6年度 授業改善推進プラン

担当教科 (英語) 学年 (2 学年)

学力調査・アンケート等の課題分析

「授業に積極的に取り組んでいる」と90%の生徒が回答している。授業中に、わかった、できたと感じる機会もあり、学ぶ楽しさを実感しているように見受けられる。

授業等の課題分析

- ・ペアワークやグループワークなどの学びあう活動を通して、自分の意見を述べたり、他人の意見を共有したりすることができているようである。
- ・「教材や資料がわかりやすい」と90%の生徒が答えているので、今後も適切にICTやワークシートの活用をしていく。



目指す授業

- ・わかりやすい授業、生徒が学ぶ喜びを持てる授業
- ・学習した英語を使えるようにできる授業



授業改善のための具体的な方策

- ・わかりやすい導入を心がけるために、ICT機器やデジタル教科書を適切に活用する。
- ・基本的な英語のやりとりをできるように、ペアワークやグループワークを継続的に行い、生徒一人ひとりの発話量を増やせるようにする。
- ・発話した内容を、ノート等の活用をし、書く力の定着を図る。

令和6年度 授業改善推進プラン

担当教科 (英語) 学年 (3 学年)

学力調査・アンケート等の課題分析

「授業に積極的に取り組んでいる」と90%の生徒が回答している。授業中に、わかった、できたと感じる機会もあり、学ぶ楽しさを実感しているように見受けられる。

授業等の課題分析

- ・ペアワークやグループワークなどの学びあう活動を通して、自分の意見を述べたり、他人の意見を共有したりすることができているようである。
- ・「教材や資料がわかりやすい」と90%の生徒が答えているので、今後も適切にICTやワークシートの活用をしていく。



目指す授業

- ・わかりやすい授業、生徒が学ぶ喜びを持てる授業
- ・生徒が、～することができた、と実感し、自ら学んでいこうとする意欲につながる授業



授業改善のための具体的な方策

- ・わかりやすい導入を心がけるために、ICT機器やデジタル教科書を適切に活用する。
- ・基本的な英語のやりとりをできるように、生徒一人ひとりで考え、そのあとペアまたはグループで互いの考えを伝えられるようにさせる。
- ・書けるようになる楽しさが自ら学んでいこうとする学習につながるようにさせる。
- ・生徒の状況に合わせて音読の回数口頭練習の回数の増減の工夫をする。
- ・継続的に指導し、褒めて、励ますようにする。